

平成 23 年度社団法人愛知県鉄工連合会事業計画書

1 基本方針

我が国の経済は、リーマンショックが引き金となった世界的な金融危機および世界同時不況からの回復過程にあります。

しかしながら、経済社会の構造変化は急激に進みつつあり、中国、インド等のアジア新興国の急激な経済発展によるグローバル化、国際的レベルでの競争に耐え得る経営体質の強化と技術開発の前進が求められるとともに、円高、製造業の海外移転による国内製造業の空洞化、また、3月11日に発生した東日本大震災、福島原発の被災等により、日本経済は勿論のこと会員企業も大変厳しい状況に直面しております。

当連合会は、会員企業がこの厳しい状況を克服して、事業の発展および地域社会に引き続き貢献できるように、従来と同様に愛鉄連の単独事業を推進するとともに、愛鉄連厚生年金基金、愛鉄連健康保険組合、アイ企業年金基金及び県下20支部との連携を密にして、事業目的の達成と連合会の安定した運営を期す所存であります。

また、平成20年12月1日から施行された公益法人改革法への対応については、21年4月から公益法人移行検討委員会を立ち上げ検討しており、23年度中に總會の承認を得て一般社団法人への移行認可申請を目指します。

2 事業計画

(1) 企業功労者表彰事業 事業費 2,549千円

社団法人愛知県鉄工連合会表彰規程に基づき、本会の会員事業所に勤務する従業員で、勤続20年以上、勤続15年以上、勤続10年以上、勤続5年以上で、勤務状況が優秀な者を勤労感謝の日の前後に優良従業員表彰式を挙げて表彰する。勤続20年以上の永年勤続優良従業員には、愛知県知事の表彰を内申する。

(2) 技術向上事業 事業費 654千円

ア 生産技術の向上に関する講演会等の開催

生産システムの高度化や加工技術の高度化に関する講演会、講習会を開催する。

イ 先端産業技術に関する講演会等の開催

バイオテクノロジー、IT、ナノ・テクノロジーなどの新しい技術に関する講演会、講習会を開催する。

ウ 関係諸機関・団体との連携

愛知県産業技術研究所、(財)あいち産業振興機構、名古屋市工業研究所、中部生産加工技術振興会、愛知工研協会など関係諸機関との連携と利用の促進を図り、関係諸機関が実施する事業に協賛するなど、積極的な支援を行う。

エ 関連団体の活動支援と事業協力

鉄工連合会の若手経営者による技術、経営の交流及び広く産業技術分野の知識の習得を目的とする愛鉄連ハイテク研究会の活動を支援し、事業協力を行う。

(3) 経営安定化推進事業 **事業費** **734千円**

ア 経営安定対策に関する講演会等の開催

産業動向、経営管理、税務問題等に関する講演会、研修会を開催する。

イ 人材養成に関する講演会、セミナー等の開催

人材養成に関する講演会、研修会や、管理職として必要なリーダーのあり方と部下の能力開発、職場の活性化対策などについて実践的な戦略を修得させるセミナーを開催する。

ウ 労働、賃金、雇用に関する講演会等の開催

労働問題、賃金、中高年齢者対策、外国人労働者問題、雇用形態の变革等に関する講演会、研修会を開催する。

エ 通信教育の支援

職業訓練法人日本技能教育開発センターの行う通信教育講座を後援し、会員に周知するとともに募集事務を代行する。

なお、この事業の講演会・セミナーについては、会員外の参加募集も行う。

(4) 産業動向対策事業 **事業費** **1,421千円**

ア 景気動向等に関する講演会の開催

経済の動向、景気の動向に関する講演会を開催する。

イ 海外事情調査事業の推進

経済のグローバル化の進展に伴い、海外事業の展開、海外交流等、その対応と戦略に関する講演会を開催する。

ウ 産業動向の資料収集及び情報提供

官公庁その他の機関の発行する各種産業動向の資料を収集し、情報提供に備えるとともに、(財)あいち産業振興機構の開催する商談会や制度の紹介、他機関の開催する講演会等の会員への周知に努める。

エ 新春賀詞交歓会の開催

愛鉄連厚生年金基金、愛鉄連健康保険組合、アイ企業年金基金との共催で、新春賀詞交歓会を開催し、愛鉄連四団体の役員と関係官公庁、関係金融機関等との交流を図る。

(5) 体育奨励事業 **事業費** 2,440千円

ア 愛鉄連体育奨励実行委員会の運営

愛鉄連健康保険組合、愛鉄連厚生年金基金との共同事業を行うため設置した愛鉄連体育奨励実行委員会の実施する事業として、野球、卓球の県大会を開催するとともに各支部、各地区の大会を支援する。

イ レクリエーション・スポーツの普及促進

各支部の事業活動活性化の一助として、ボウリング大会等、健康の保持増進に資するレクリエーション・スポーツの普及促進を図り、県大会を開催するとともに、各支部の大会の開催を支援する。

(6) 調査・広報事業 **事業費** 1,615千円

ア 会報の発行

本会の事業計画、収支予算、事業報告、収支決算、技術革新の問題や支部活動等について本会の機関紙“鉄工連会報”を年4回、1回の発行部数1,350部を発行し、会員及び関係機関等へ配布する。

イ 調査広報

官公庁、関係機関、団体等から会員の利便に供する資料収集に努め、必要に応じ情報提供を行う。

ウ ホームページの運営

当連合会のホームページを活用して広報や、会員、各支部、関係団体との情報交換を容易にする。さらに、公益財団法人公益法人協会が設置する「公益法人情報公開共同サイト」を活用して、開示を求められている業務・財務等に関する資料を引き続き公開する。

(7) 公益法人制度改革関連法に伴う移行検討事業

平成21年4月1日に設置した、新公益法人移行検討委員会において方針を固め、23年度中に總會の承認を得て一般社団法人への移行申請を目

指す。また、移行に伴う各支部事務局との意見調整を行う。

(8) 収益事業

事業費 4,170千円

会員企業の従業員福利厚生制度の一助として、愛鉄連グループ保険のほか、企業年金保険、がん保険、PL保険、労災総合補償制度などの団体保険業務を実施する。

また、会員企業の従業員個人を対象とした、割安な年会費で加入できるクレジットカード斡旋事業も引き続き実施する。

その他、会員企業の福利厚生に関する収益事業を実施する。

3 事業運営に関する事項

(1) 会議

「事業の基本方針」を達成するため、以下のとおり会議等を開催し、事業計画の円滑な実施をする。

ア 総会

2回(6月、3月)

イ 理事会

2回(6月、3月)

ウ 正・副会長会議

2回(5月、3月)

エ 表彰委員会

1回(10月)

オ グループ共済委員会

2回(9月、1月)

カ 体育奨励委員会

必要に応じて開催

キ 新公益法人移行検討委員会

必要に応じて開催

ク 愛鉄連連絡協議会

3回(6月、10月、2月)、その他に応じて開催する。

(2) 広報計画

ア 会報の発行

1月、4月、7月、10月の年4回発行する「鉄工連会報」で、鉄工連合会、各支部の事業内容等を周知する。また、経費節減のため会報のメール送信を検討する。

イ ホームページの活用

関係団体及び官公庁より、情報収集したデータ、資料、タイムリーな話題を各支部及び役員へ必要に応じて提供する。また、会員専用のページを設け、会員同士の情報交換の場として利用できるようにする。

(3) 主な各種事業の実施

ア 企業功労者表彰式

11月に愛鉄連基金会館で表彰式を開催する。

イ 新春賀詞交歓会

1月上旬に愛鉄連基金会館で賀詞交歓会を開催する。

ウ 野球大会

10月下旬に鉄工連合会、厚生年金基金、健康保険組合の3団体の共催で愛鉄連野球大会を開催する。

エ 卓球大会

3月上旬に鉄工連合会、厚生年金基金、健康保険組合の3団体の共催で愛鉄連卓球大会を開催する。

オ ボウリング大会

11月下旬に愛鉄連ボウリング大会を開催する。